

## ご挨拶

日本核医学会会長 佐々木 康人

第35回日本核医学会総会・学術大会はすでにご案内のように10月4日～6日の期間横浜市パシフィコ横浜で開催されます。そのプログラムと抄録集をお届け致します。

演題募集にあたり発表者はお1人1題に限定させて頂きました。今回は合計610の一般演題を発表して頂きます。プログラム委員には抄録の評価ならびに口演とポスター発表の振り分けをお願いしました。演題を厳選し、会場数を減らすべきとのご意見を相当数頂きましたが、今回は評価に基づく演題の採否選定は行いませんでした。今後の学会の課題であると思います。

初めての試みであるインターナショナルセッションには国内外から37演題の応募を頂きました。これに英語による教育講演17とパネルディスカッションを加えてこのセッションを構成致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日本語による教育講演6題を加え、すべての教育講演は第4(一部第5)会場で行います。一般口演のテーマと極力重複をさける努力をしました。特別講演は東京大学先端科学技術研究センター藤正巖教授に「生物と小さな機械」、ジョンズホプキンズ大学ヘンリー・ワグナー教授に「Future of Nuclear Medicine at the Turn of the Century」をお願い致しました。

学術大会の内容の充実を期すると同時に会場の設営と運営を簡素化して経費の軽減を企っておりまます。そのため演者と座長の作業負担が増えますが、宜しくご協力をお願い致します。発表形式が例年と違うところがありますので、「ご案内」を注意してお読み下さい。

学会懇親会は例年通り第2日に開催致しますが、挨拶、祝辞などのフォーマリティを極力排して、眞の懇談と会食の場と致します。若い会員の方々も含めて多数ご参加頂きたく存じます。

機器、医薬品展示場の開場式を第1日目に行いますので是非ご参加下さい。

会期中に数々のインフォーマルミーティングが企画されており、原則として会場内で開催されます。その詳細は正規のプログラムにのりませんが、様々な形でご案内することと思います。

最後になりましたが、準備の段階から親身のご助言、ご協力を賜っておりますプログラム委員、学会関係者および関連企業の方々に心からお礼申し上げます。教室員と事務局スタッフにとってはこれからが正念場でありますが、これまでの献身的労に感謝致します。意義深い楽しい学会開催に向けて今後も頑張る所存です。

10月4日横浜で多数の皆様とお目にかかるのを楽しみに致しております。

第35回 日本核医学会総会 プログラム委員会

(敬称略 五十音順)

委員長	佐々木	康人	喜春文	渡藤鈴	石伊大織	雄吾一男	良健	田藤野	石伊宇	均夫義	和孟浩	嵐藤枝	五十伊	二一門	欣有嘉	阿一今	大笠熊	須竹利	藤村山
副委員長	西川潤	一	和加道	内田堺	窪小千	巖子行	公行	野坂原	小菅高	一右潔	啓英	川尾泉	金小佐	門達治	有嘉寛	大井嶽	大笠本	波嶋田	中藤本
委員	員部		大圭雅苑	田野沢口	辻中野	良子彦史	唯広長	木山木田	高篠玉外	潔郎二美子	修勝佳憲	治田吉村	佐棚富中	茂寛久一透	紀憲	須田	利田	中藤本	山
委員	阿		純	入崎	水山	豊明	比行博	辺	成松森渡	業光晴	敏義	田瀬倉	百米	啓高	和				
委員	一		喜春文	渡藤鈴	石伊大織	雄吾一男	良健	田藤野	石伊宇	均夫義	和孟浩	嵐藤枝	五十伊	二一門	欣有嘉	阿一今	大笠熊	須竹利	藤村山